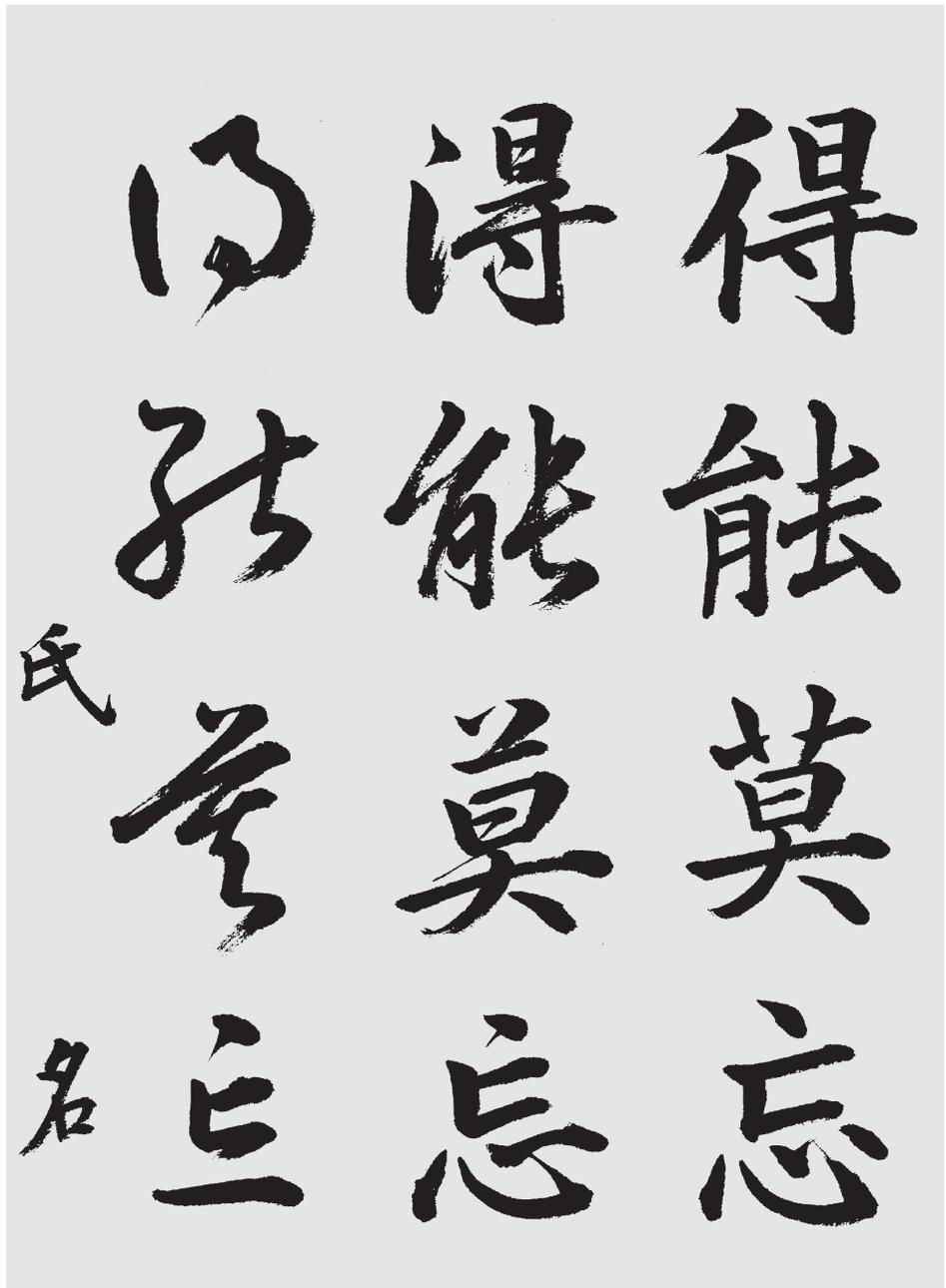


三体千字文を書く (44)

締切り 八月二十二日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

知過必改

得能莫忘

過失は必ず改め、道を悟ったら忘れることなかれ。

準初段から六段まで

新入から1級まで

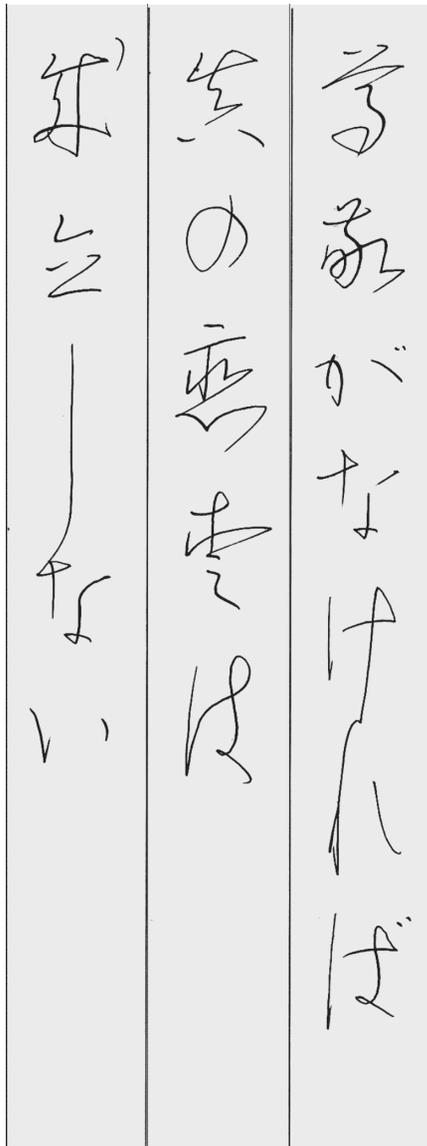
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕尊敬がなければ 真の恋愛は 成立しない



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

	み	わ
	な	れ
	わ	以
	が	外
吉	師	
川	な	
英	り	
治		

古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範⇨楷書  
▼師範⇨行草または草書

◆9月課題予告(行書)  
尊敬というものは  
なんらかの選択に  
基づくものである

★尊敬…(書体⇨行草または草書)  
ファイヒテ(一七六二〜一八一四)  
ドイツの哲学者  
恋愛には様々な形があって、どれも  
正しい恋愛か、一概には言えない。し  
かし、一時的な恋愛感情の高まりは、  
やがて冷めていくものであり、その時  
に互いに尊敬の念がなければ、真の恋  
愛は成立しないというのは間違いのな  
いことである。

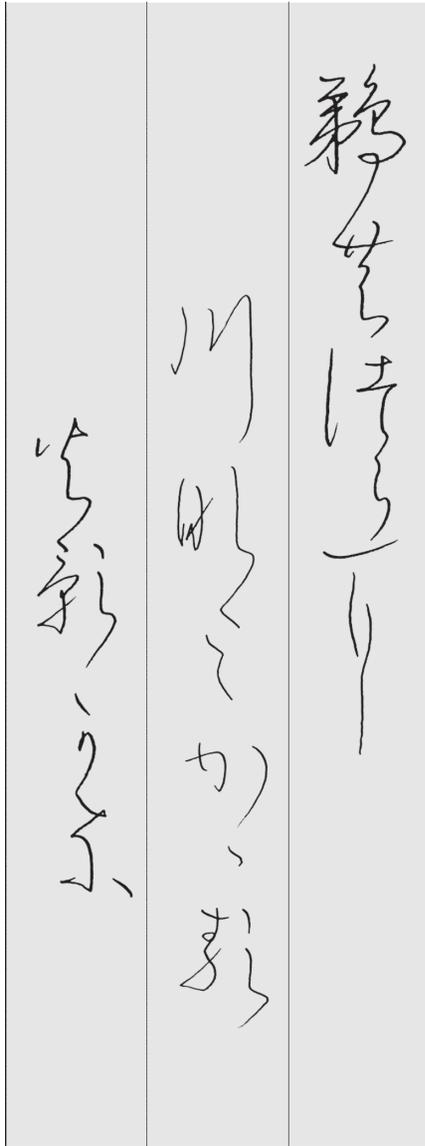
★われ…(書体⇨行書)  
吉川英治(一八九二〜一九六二)  
小説家  
先生や先輩、同輩ばかりでなく後輩  
も、あるいは四つか五つの子どもでも  
自分の知らないことをたくさん知って  
いる。その意味で自分以外のすべての  
人を見なわが師と思ひ、自分の知らな  
いことを謙虚に学びとる。これが本当  
に教養ある人の心構えといえるだろう。

◆9月課題予告(楷書)  
口に密あり  
腹に剣あり  
新唐書

準初段から六段まで

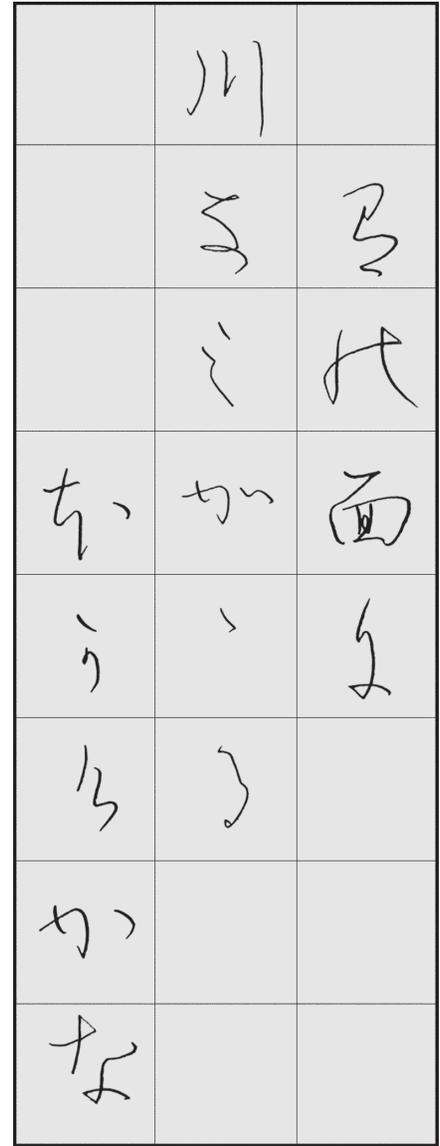
新入から1級まで

鵜農徒ら耳の面那三に川波類かかる火影可奈かな



鵜有能の面尔に川波奈三加かかる火影本可介かな

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆9月課題予告

嵐吹く草の中より今日けふの月

(三浦樽良)

【解説】「か」が、二・三回出てきます。変更して書いていただいても良いのですが、バランス良く書いて下さい。

有有 能能 農農 那那 類類  
 有 能 農 那 類  
 有 能 農 那 類  
 有 能 農 那 類  
 有 能 農 那 類

鵜うの面つらに川波かはなみかかる火影ほかげかな  
 (高桑闌更たかくわらんこう)  
 【句解】鵜飼うがひもたけなわ。篝火かがりびが明るく川面を照らす。水中から姿を現した鵜のキョトンとした顔に川波がかかり、篝火の光がゆれる。  
 【鑑賞】川の流れ、舟をこぐ音、鵜匠しやうのかけ声、といった聴覚の世界を想起させ、顔に飛び散る川波を受ける鵜、ほのめく篝火、背後の暗がり、闇と光の対照も鮮やかな動的な作品である。  
 (古筆参考)



締切り 8月22日(必着)

湧き立つ入道雲に夕立ちを待ち  
わびるこの頃ですが、お健やかに  
お過ごしでしょうか。夕暮れにも  
なれば縁側に出て、線香花火を  
楽しむ日々を送っています。去り  
ゆく夏の情緒を感じながら。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

湧き立つ入道雲に夕立ちを待ち  
わびるこの頃ですが、お健やかに  
お過ごしでしょうか。夕暮れにも  
なれば縁側に出て、線香花火を  
楽しむ日々を送っています。去り  
ゆく夏の情緒を感じながら。

横書き課題

お 郷 すい こう 書  
尾 郷 翠 光 書

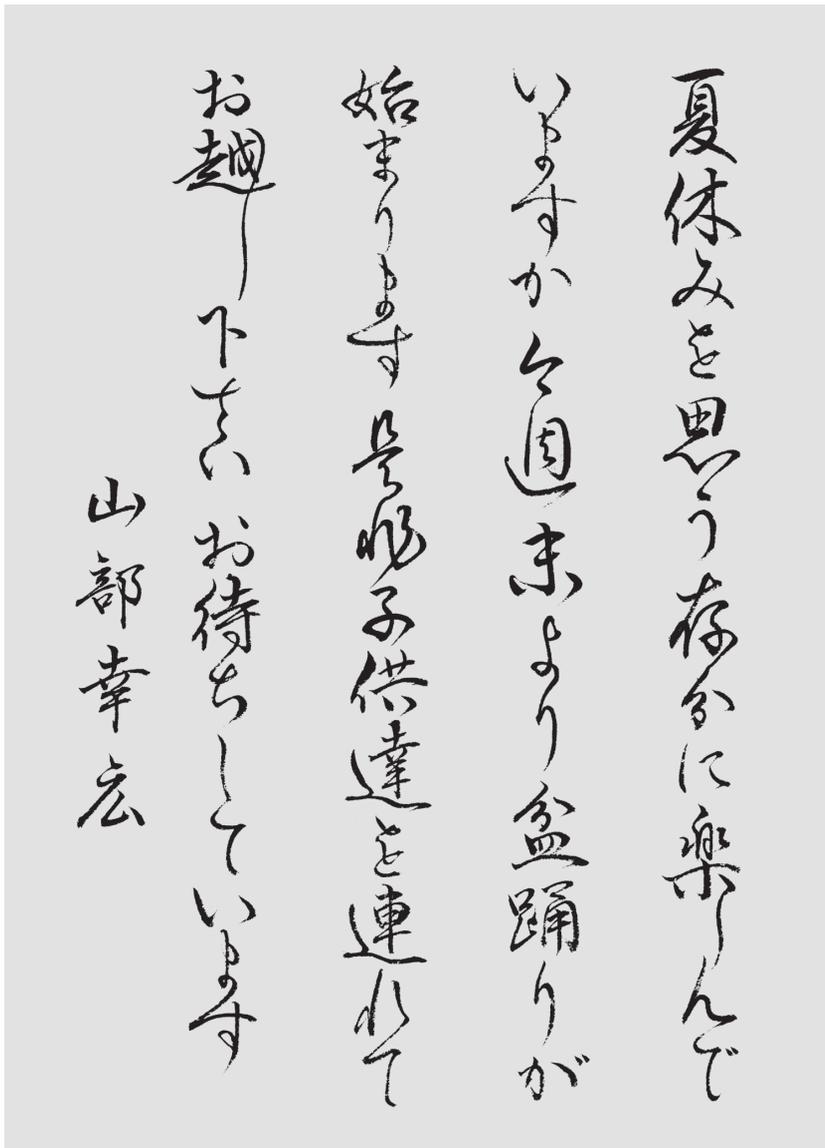
現代は、情報を無視しては生活  
が成り立たない時代である。

山形県尾花沢市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

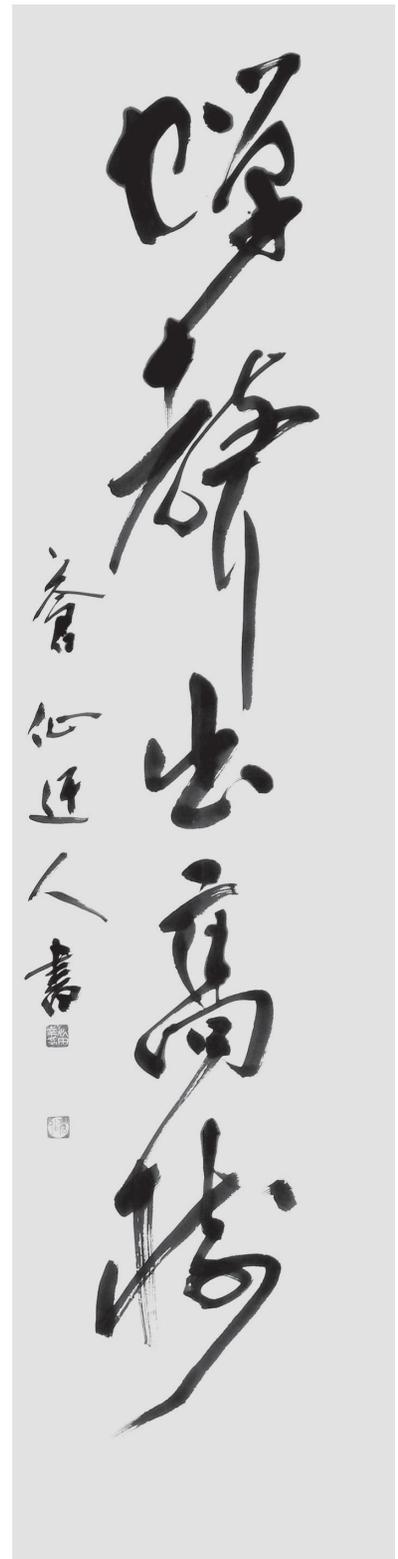
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 八月二十二日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙先生書

蝉聲出高樹

〔大意〕 高い樹の上で蝉が鳴いている。自然に恵まれた山の中に住んでいる私の幸せ。初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕

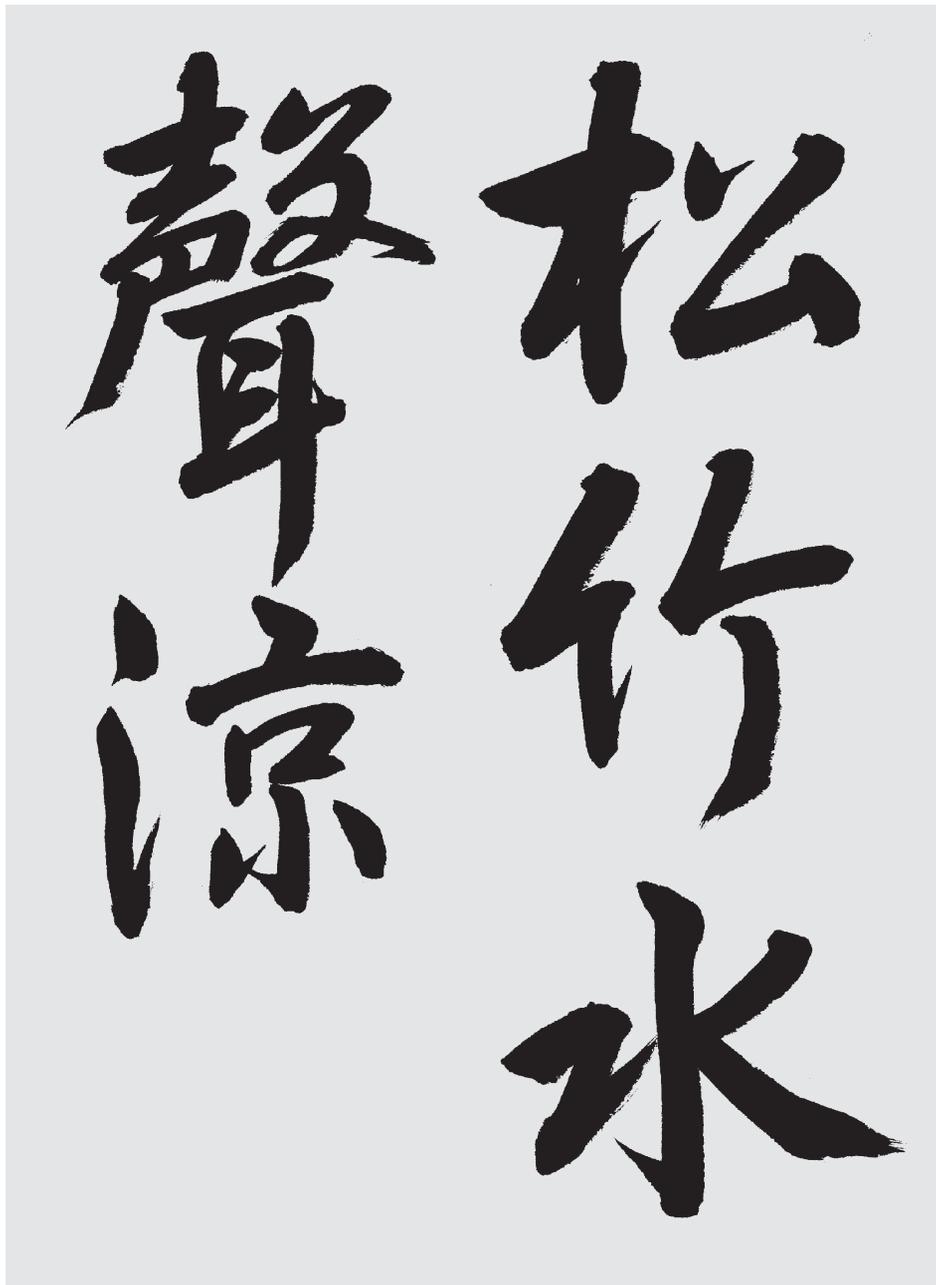
作品は均衡美。変化と統一です。細と太、疎と密、潤と渴、大と小等のように相反する要素を一つでも多く入れて作品づくりをして下さい。そして批評を頂きましょう。

- 夏休みを思う存分に楽しんで  
いますか 今週末より盆踊りが  
始まります 是非子供達を連れて  
お越し下さい お待ちしています  
(ご自分の氏名)
- 印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)



しょうちくすいせいすずし  
松竹水聲涼

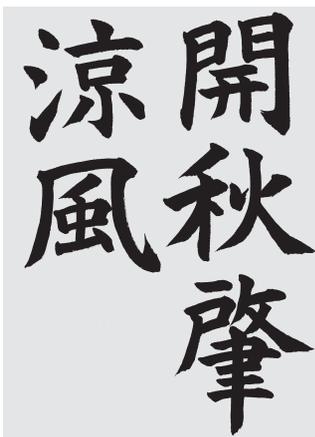
〔大意〕青い松に翠の竹、水の声はとりわけ涼しい。

清し  
水  
翠  
芳書

〔解説〕



◆9月課題予告(楷書)



準初段から師範まで

者法法之玄宗

須田一葉臨

者  
諸  
法  
之  
玄  
宗

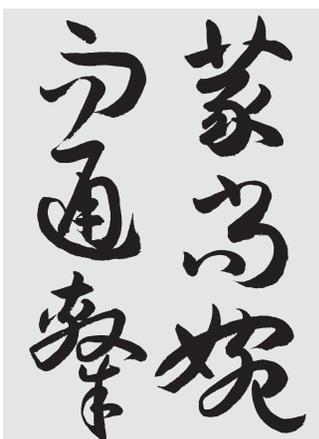


〔出典〕集字聖教序(六七二)  
〔筆者〕王羲之法書より集字  
〔読み〕(聖教なる)者は、諸法の玄宗、

〔解説〕

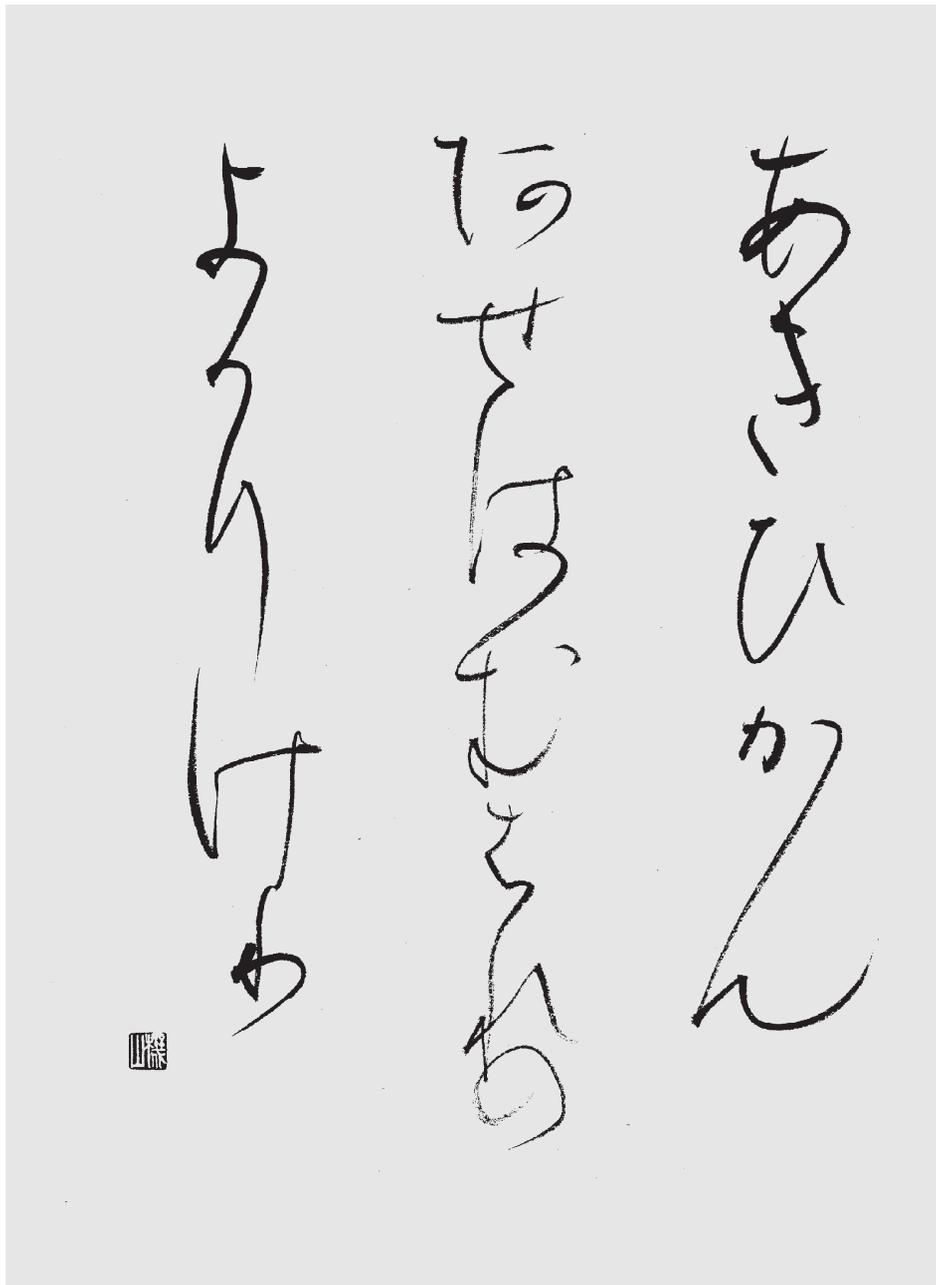


◆9月課題予告  
※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



秋彼岸汗ばむ晴のよかりけり

牧野蓼々

〔句意〕

秋晴れて汗ばむほどの天候に恵まれた、秋の彼岸を素直に よろこんだ句。彼岸会に参るおだやかな心情が表われている。

〔古筆参考〕

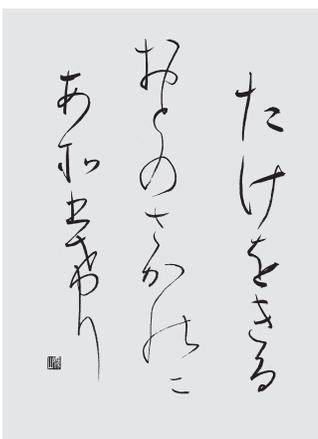
阿あ 阿あ 阿あ 阿あ

者は 者は 者は 者は

可か 可か 可か 可か

利り 利り 利り 利り

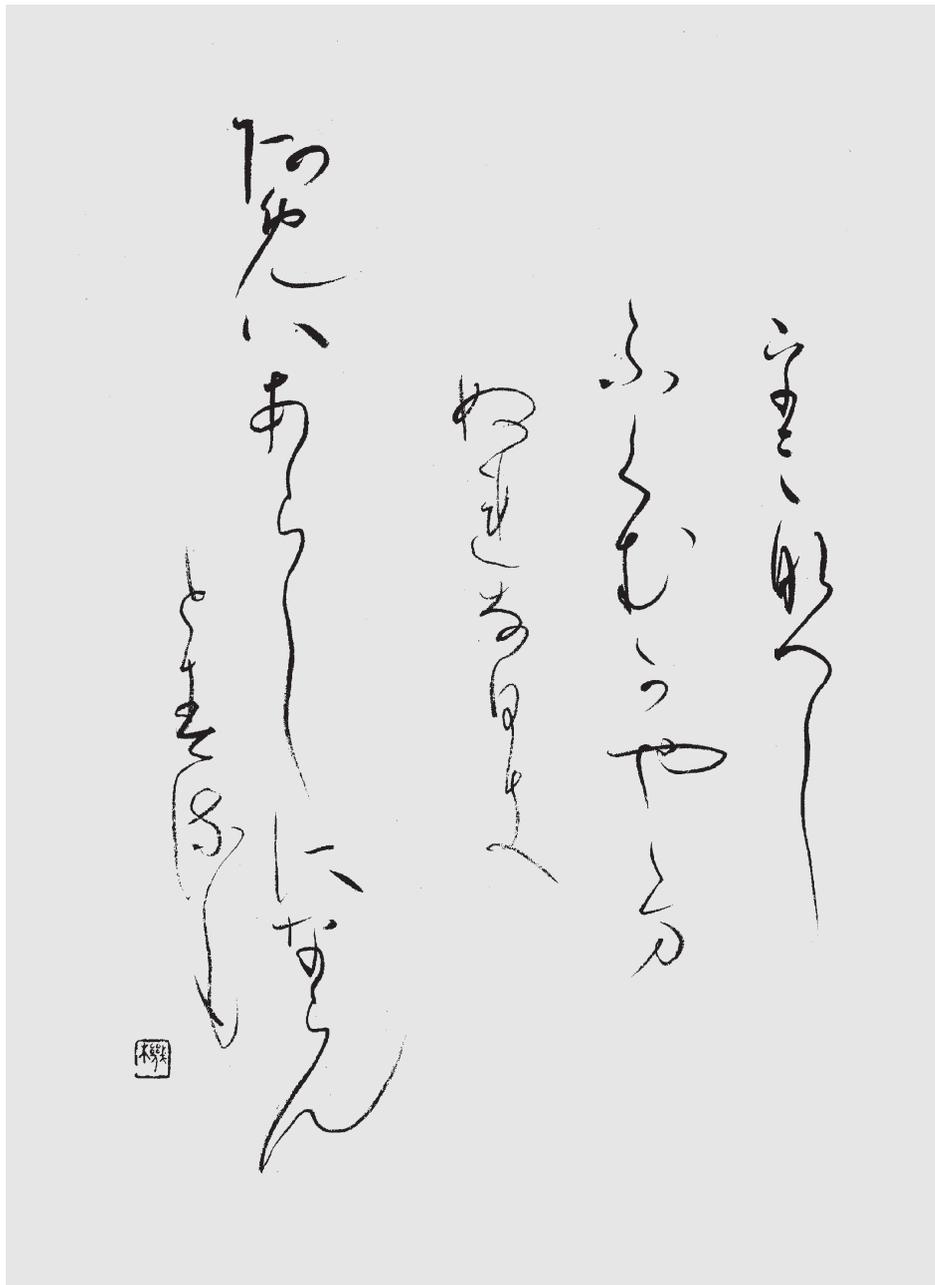
◆9月課題予告



竹を伐る音の嵯峨野に遊びけり

準初段から師範まで

浅井機山先生書



乎<sup>三</sup>那<sup>へ</sup>し  
女郎花<sup>ふくむ</sup>萱山<sup>ぬれ</sup>なびき

阿<sup>免</sup>八<sup>あらし</sup>  
雨は嵐<sup>にならんとす</sup>るも

木下利玄

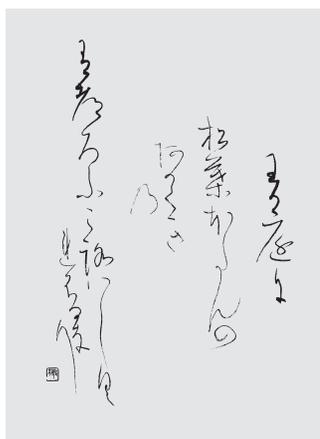
〔歌意〕

あちらこちらに女郎花をまじえたこの萱山は、いっせいに濡れなびいている。雨はいよいよ嵐になろうとしているようだなあ。

〔古筆参考〕

乎<sup>を</sup>字<sup>あ</sup>字<sup>り</sup>  
那<sup>な</sup>那<sup>ら</sup>那<sup>ら</sup>  
連<sup>れ</sup>連<sup>連</sup>連<sup>連</sup>  
免<sup>め</sup>免<sup>免</sup>免<sup>免</sup>  
春<sup>す</sup>春<sup>春</sup>春<sup>春</sup>  
流<sup>る</sup>流<sup>流</sup>流<sup>流</sup>

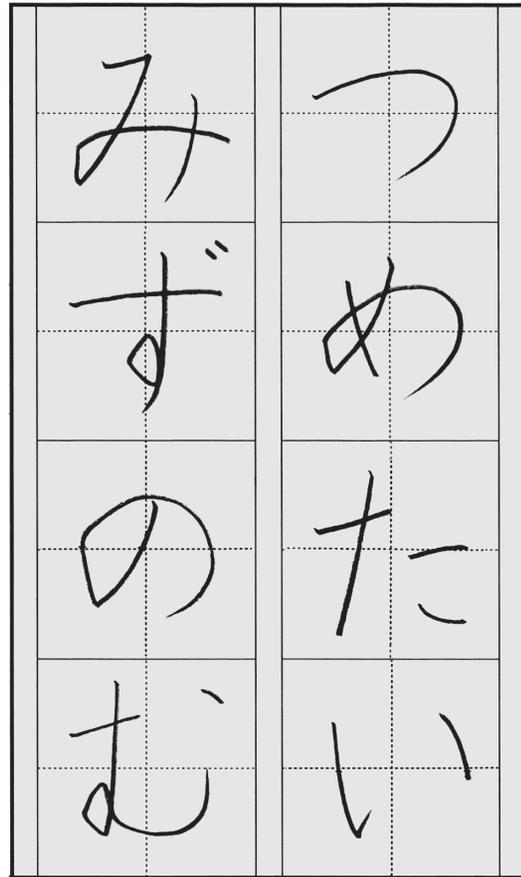
◆9月課題予告



わが庭<sup>には</sup>に松葉牡丹<sup>まはばたん</sup>の赤茎<sup>あかくき</sup>の

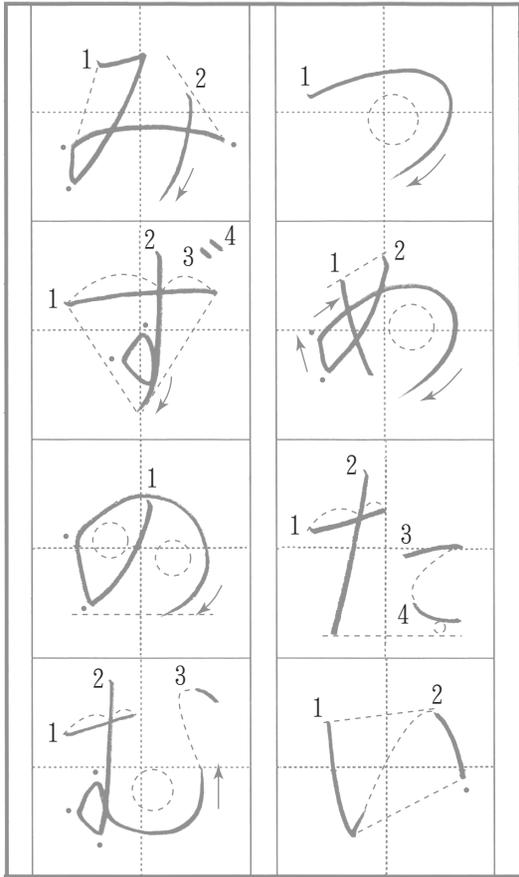
うつろふころは時雨<sup>しぐれ</sup>降るなり

よ  
う  
年



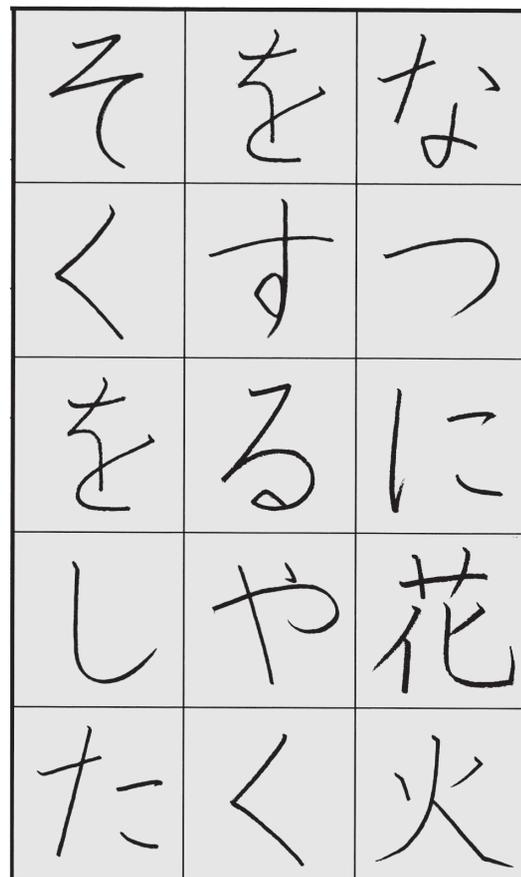
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

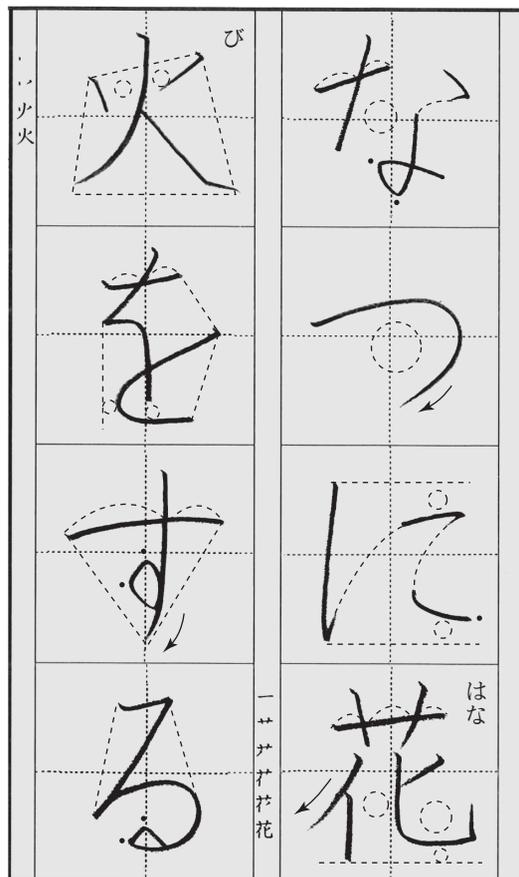
小  
一  
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準  
初  
段  
以  
上

新  
入  
〜  
1  
級



幼  
年  
〜  
小  
三  
年  
ま  
で  
三  
宅  
容  
玉  
書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

さ	一ナ大	太	おお
い	ハハハ空空空	空	ぞら
雲	くも	に	
が	リリ小	小	ちい

新入〜1級

一	小	大	小二年 準初段以上
つ	さ	き	
う	い	な	
か	雲	空	
ぶ	が	に	

や	ノハハ今全全	金	ゼン
り	ロロ百冒冒買	買	イン
す		で	
る	リリ水	水	みず

新入〜1級

水	が	ク	小三年 準初段以上
や	交	ラ	
り	た	ス	
す	い	全	
る	で	員	

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



〈用具〉自由(黒色に限る)

ノイ内而血	ケツ 一 口 同 同 同	おな(じ)
シ江沙涉液	エキ イ 身 身 射 射	い
ニ 刑 刑 刑 刑	がた 一 二 三 手	て
一 ナ 方 友	とも 广 广 座 座 座	ザ

解説(よく見て習いましょう)

つ	血	同
し	液	じ
よ	型	射
の	も	手
友	い	座

小六年

(全員)

て	天	晴
月	体	机
の	望	た
観	遠	夜
測	鏡	は

中二・三年 (行書)

※老若男女  
ろうじやくなんじよ

る	愛	老
新	さ	若
人	机	男
俳	て	女
優	い	に

中一年

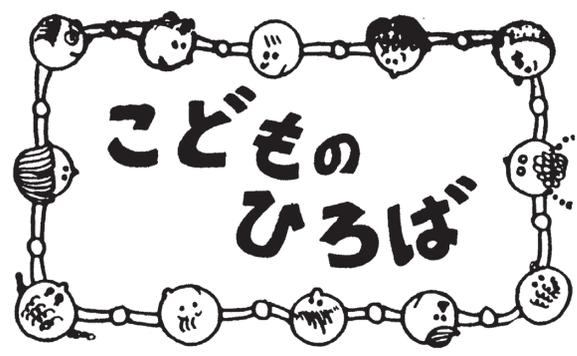
(行書)

▼小三年以下の課題 まつ い せん ゆう 松 井 千 游 書

動	か	み	ぬ	夏	
物	わ	た	い	休	
園	い	い	ぐ	み	
で	い	な	る	に	
見	パ		み		
た	ン				
	ダ				
	を				



◎お手本はえんぴつ使用

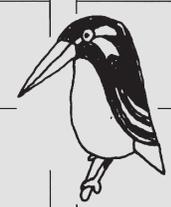


しめきり 8月22日 (必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 うき もと こう さ 浮 本 光 紗 書

呼	溪	鮮	羽	カ	
ば	流	や	毛	ワ	
れ	の	か	が	セ	
と	宝	な	青	ミ	
て	石	鳥	や	は	
も	と	で	緑		
美			の		
し					
い					



◎お手本はつけペン使用

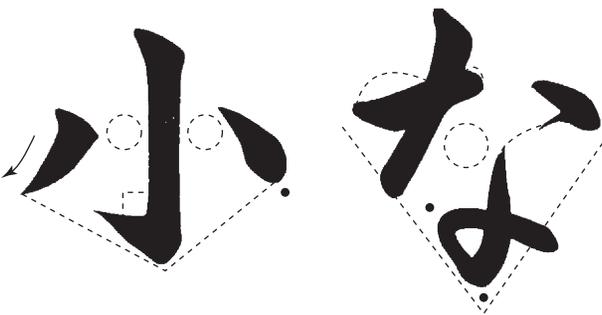
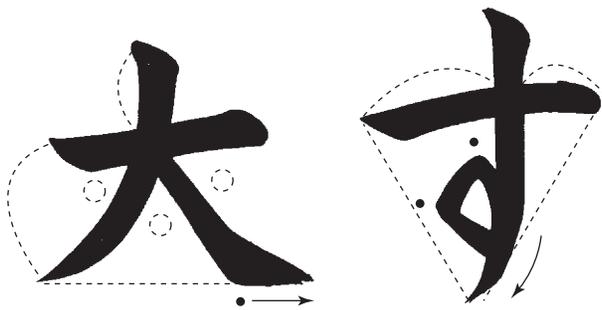
◇作品の出し方

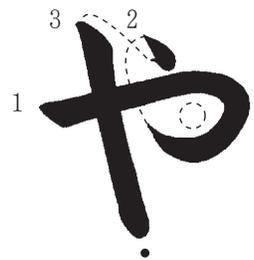
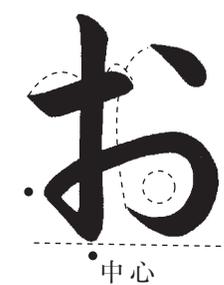
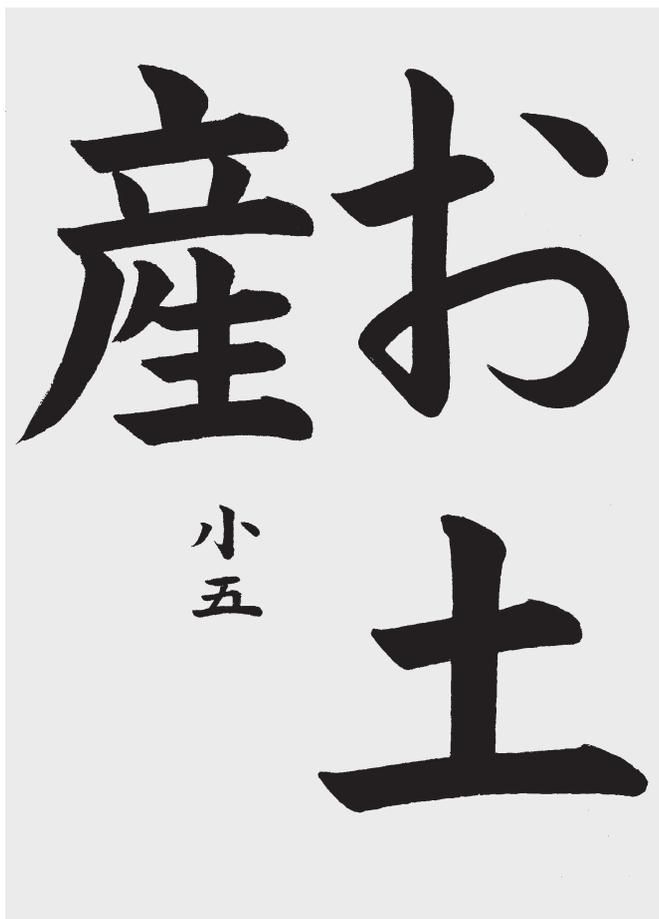
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年  
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中二・三  
観月

血型

小六〜中二・三年

永谷恵子書

測の

小六

液

若

液

※老若男女

中一

男老

※行書は線の連なり(気脈)に注意しよう。

観

型土

測

長めに

老

女若